

2018年4月映画興行部門興行成績速報

4月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

687スクリーン **興行収入** **6,819,156,624 円** **(前年比 97.2%)**

4月主要稼働作品

『名探偵コナン ゼロの執行人』『映画クレヨンしんちゃん 爆盛!カンフーボーイズ ~拉麺大乱~』『ジュマンジ/ウェルカム・トゥ・ジャングル』『クソ野郎と美しき世界 THE BASTARD AND THE BEAUTIFUL WORLD』『パシフィック・クリム: アップライジング』『いぬやしき』『レディ・プレイヤー1』『アベンジャーズ/インフィニティ・ウォー』『となりの怪物くん』『映画ドラえもん のび太の宝島』『グレイテスト・ショーマン』『リメンバー・ミー』『ママレード・ボーイ』『娯年』『ちはやふる-結び-』『ボス・ベイビー』『ペンタゴン・ペーパーズ 最高機密文書』『ウインストン・チャーチル/ヒトラーから世界を救った男』『映画プリキュア スーパースターズ!』他

1月から4月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **21,128,526,253 円** **(前年比 88.5%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上